2026年11月5日

各　位

会　社　名　ブリッジインターナショナルグループ株式会社
代表者名　代表取締役会長兼 ＣＥＯ　吉田　融正
（コード番号：7039　東証グロース）
問合せ先　経　営　企　画　本　部　長　渡部　　毅
（TEL.03-5787-3030）

子会社のブリッジインターナショナルアジア、WordPressサイト向けKuroco移行支援サービスの無料相談窓口開設に関するお知らせ

当社の子会社であるBRIDGE International Asia Sdn Bhd（本社：マレーシア・クアラルンプール）は、WordPressで運用されている企業ウェブサイトを対象に、ヘッドレスCMS「Kuroco」を活用したウェブサイトの再構築・移行支援サービスを提供しています。このたび、60分間の無料オンライン相談窓口を開設いたしましたので、お知らせいたします。

WordPressでは、PHPのバージョン管理やプラグインの更新対応が運用負担となる場合があります。本サービスは、既存サイトのデザインやコンテンツを活かしつつ、公開サイト側でPHPを実行しない構成へ移行することで、脆弱性リスクの一部低減と保守負担の軽減を目指すものです。50サイト以上のKuroco活用実績をもとに、現状調査から公開までを支援いたします。

今後も企業のウェブサイト運用における課題解決を通じて、デジタルソリューション事業の拡大を図ってまいります。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以上

PRESS RELEASE
報道関係各位

2026 年 10 月 28 日

ブリッジインターナショナルグループ株式会社
BRIDGE International Asia Sdn Bhd

WordPress の PHP 脆弱性対策と保守負担の軽減へ。Kuroco を活用したウェブサイト再構築を支援

〜PHP の脆弱性対策や WordPress のプラグイン保守に課題を抱える企業様へ。ヘッドレス CMS、Kuroco を活用した 50 サイト以上の制作実績をもとに、サイト移行・再構築を支援。無料相談窓口も開設〜

ブリッジインターナショナルグループ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役会長兼 CEO：吉田融正）の子会社である BRIDGE International Asia Sdn Bhd（BIA、マレーシア・クアラルンプール：阿部慎吾 代表取締役社長）は、WordPress で運用されている企業ウェブサイトを対象に、ヘッドレス CMS「Kuroco」を活用したウェブサイトの再構築・移行支援サービスを提供しています。この度、より多くの企業様を支援するため、無料相談窓口を開設いたしました。

本支援サービスでは、既存ウェブサイトのデザインやコンテンツを活かしながら、コンテンツ管理機能とウェブサイトの表示部分を分離した構成への移行を支援します。

PHP の脆弱性対応、WordPress 本体やプラグインの更新管理、継続的な保守運用に課題を抱える企業様に対し、PHP への依存を抑えたシステム構成への移行と、セキュリティ対策・保守運用の見直しを提案します。

BIA は、Kuroco を活用したウェブサイトの制作実績を 50 サイト以上有しており、その知見を活かして、既存サイトの調査から移行設計、開発、公開までを支援します。また、無料相談窓口を開設いたしました。

背景：WordPress サイトのセキュリティ対策と保守負担

企業のウェブサイトは、情報発信や顧客との接点を担う重要な事業基盤です。一方、安全かつ安定した運用を継続するためには、CMS 本体やプラグイン、テーマ、PHP、サーバー環境など、システムを構成する各要素の脆弱性情報を確認し、必要な更新やセキュリティ対策を実施する必要があります。

特に、WordPress を利用する企業では、PHP のバージョン管理やセキュリティ更新に加え、プラグインの互換性確認、更新後の動作検証などが運用上の負担となる場合があります。

また、長年にわたって機能追加や改修を重ねたウェブサイトでは、システム構成が複雑になり、保守を担当する人材の不足や、既存システムの把握が難しいといった課題も生じます。

こうした課題に対し、BIA は、ウェブサイトの構成そのものを根本的に見直す選択肢として、ヘッドレス CMS「Kuroco」への移行を支援します。Kuroco についての詳細はこちらをご覧ください。

ヘッドレス CMS「Kuroco」への移行によるメリット

1. 公開サイトの PHP 依存を抑えた構成を実現

一般的な WordPress サイトでは、ウェブサイトの表示処理に PHP を利用します。一方、Kuroco をバックエンドとして採用し、HTML・CSS・JavaScript などで構成されたフロントエンドを静的ファイルとして配信する方式では、公開サイト側で PHP を実行しない構成を実現できます。

これにより、公開サイトの表示部分における PHP への依存をなくし、PHP に起因する脆弱性リスクの一部を低減できます。

ただし、Kuroco の管理機能や API、フロントエンド、外部ライブラリなどには、それぞれに応じたセキュリティ対策が必要です。

2. CMS と公開サイトを分離し、セキュリティ対策を設計

ヘッドレス CMS では、コンテンツを管理するバックエンドと、ユーザーが閲覧するフロントエンドを分離します。

この構成により、公開サイトとコンテンツ管理機能の役割を明確にし、API の認証やアクセス権限などを適切に設計することで、管理機能へのアクセスを制御しやすいシステム構成を目指せます。

また、Kuroco が提供するセキュリティ関連機能を活用し、ウェブサイト全体のリスクに応じた対策を組み合わせることが可能です。

3. CMS の保守負担を見直し、運用を効率化

WordPress では、本体やプラグイン、テーマ、PHP などの組み合わせに応じて、更新管理や互換性の確認が必要になります。

Kuroco のマネージドサービスを利用することで、CMS 基盤の保守管理の一部をサービス提供側に任せられます。また、WordPress のプラグインに依存していた機能を見直し、移行後の構成に応じて保守対象を整理することで、運用負担の軽減を目指せます。

これにより、企業がウェブサイトの保守作業に費やす負担を見直し、コンテンツの充実や事業成長につながるウェブサイトの改善に注力できる環境づくりを支援します。

※ヘッドレス CMS への移行によって、すべての脆弱性やセキュリティリスクが解消されるわけではありません。移行後も、API、フロントエンド、外部ライブラリ、アクセス権限などの適切な管理が必要です。

サービスの主な支援内容

BIA では、既存ウェブサイトの構成や運用状況を確認し、企業の要件に応じた移行を支援します。

1. 現状調査・移行計画の策定

WordPress、PHP、プラグイン、サーバー環境、サイト機能などを確認し、移行に伴う課題や必要な対応を整理します。

2. Kuroco へのコンテンツ移行・CMS 設計

既存コンテンツやサイト構成を確認し、Kuroco でのコンテンツ管理方法、データ構造、API 連携などを設計します。

3. フロントエンドの再構築

既存サイトのデザインやユーザー体験を考慮しながら、HTML・CSS・JavaScript などを用いて表示部分を構築し、Kuroco との連携を実装します。

4. 動作検証・公開支援

コンテンツ表示、主要機能、フォーム、アクセス解析など、対象サイトに必要な項目を検証し、公開に向けた移行作業を支援します。

※移行の対象範囲、作業内容、期間、費用は、既存サイトの規模や機能、システム構成に応じて個別にお見積もりします。

このような企業におすすめです

- WordPress サイトの PHP の脆弱性対応やバージョン管理に課題を抱えている
- WordPress 本体やプラグインの更新・動作確認に時間やコストがかかっている

- ウェブサイトの保守を担当できるエンジニアや社内人材が不足している
- 長年の改修によってシステム構成が複雑になっている
- セキュリティ対策とウェブサイトの継続的な改善を両立したい
- 現在のデザインやコンテンツを活かしながら、ウェブサイトの運用基盤を見直したい

50 サイト以上の Kuroco 活用実績をもとに移行を支援

BIA は、Kuroco を活用したウェブサイトの制作実績を 50 サイト以上有しています。

これまでの制作経験を活かし、CMS の選定やシステム構成の設計から、フロントエンド開発、API 連携、公開後の運用まで、企業の課題や要件に応じたウェブサイト環境の構築を支援します。

単に CMS を置き換えるのではなく、セキュリティ対策、保守運用、将来的な機能拡張を考慮し、企業が継続的に運用できるウェブサイト基盤の実現を目指します。

60 分無料オンライン相談窓口を開設

WordPress サイトのセキュリティ対策や保守運用に課題を抱える企業を対象に、60 分間の無料オンライン相談窓口を開設いたしました。

現在のウェブサイトの運用状況や課題をお伺いし、ヘッドレス CMS「Kuroco」への移行が適しているかどうか、移行によって期待できる効果、検討すべき事項などをご案内します。

「PHP の脆弱性への対応を見直したい」「WordPress の保守負担を軽減したい」「自社サイトを Kuroco へ移行できるか知りたい」といったご相談に対応します。

移行を具体的に検討されている企業はもちろん、まずは現在のシステム構成や今後の選択肢について情報収集したい企業もご利用いただけます。

無料相談窓口についてお問い合わせ先：　https://bridge-i.asia/ja/#contact

【BRIDGE International Asia Sdn. Bhd. について】

ブリッジインターナショナルアジアは、2014 年にマレーシア現地法人として創業し、日本とマレーシアの架け橋としてクライアント企業の東南アジアでのビジネス展開を支援する総合マーケティング企業です。

海外進出前の市場調査、戦略立案、事業モデルの構築、そして、海外での営業・マーケティングを実行するためのリソースまで、専門知識と豊富な経験を活用して、クライアント企業の海外事業を推進する各種プロフェッショナルサービスをワンストップサービスとしてご提供いたします。

近年、小売業や飲食店などサービス業界において、日本からマレーシア市場に進出する企業が増加しています。当社はマレーシア市場において各消費者層に関する豊富な知見と各チャネルにアプローチするための技術力を有しています。今後も多くの日本の企業がマレーシアなど東南アジア市場に進出し事業展開することを強力にサポートしてまいります。

当社のデジタルソリューションについての詳細は https://bridge-cx.asia/ja/をご覧ください。

会社名：BRIDGE International Asia Sdn.Bhd.

登録番号：201401012326 (1088406-U)

創業年月日：2014 年 4 月 9 日

住所：B-8-02, Capital 2, Oasis Square, No. 2, Jalan PJU 1A/7A,

Oasis Damansara, 47301 Petaling Jaya, Selangor, Malaysia

代表者：代表取締役社長　阿部慎吾

Web: https://bridge-i.asia/ja/

Media: https://connection.com.my/

Digital Solutions: https://bridge-cx.asia/ja/

System Solution: https://www.edx.com.my/

Takumi: https://www.takumi.com.my/

事業内容：マレーシアを拠点とした、総合マーケティング企業

- ビジネスコンサルティング
- デジタルマーケティング事業
- BPO/インサイドセールス事業
- システムソリューションズ事業

【ブリッジインターナショナルグループ株式会社　会社概要】

社　名：ブリッジインターナショナルグループ株式会社

https://ir.bridge-g.com/

設　立：2002 年 1 月

本　社：東京都世田谷区太子堂 4-1-1　キャロットタワー19 階

代表者：代表取締役会長兼 CEO　吉田　融正

【報道関係のお問い合わせ先】

BRIDGE International Asia Sdn.Bhd.

担当者：阿部慎吾　（対応言語：日本語・英語）

TEL：+60 18-387-5096 (マレーシア)

E-mail: support@bridge-i.asia

ブリッジインターナショナルグループ株式会社

経営企画本部マーケティング部

〒154-0004　東京都世田谷区太子堂 4-1-1　キャロットタワー19 階

E-mail:mktg@bridge-g.com